

坂本光司&坂本光司研究室

# 日本でいちばん 社員のやる気が 上がる会社

— 家族も喜ぶ福利厚生二〇〇

CHIKUMA SHINSHO

……人、とりわけ社員とその家族を大切にしている企業の業績は例外なく高く、逆に社員とその家族を業績向上の手段・コストなどと位置づけている企業の業績は、例外なく低い、ということが、多くの企業研究の成果として近年、明らかになっています。

**第三子誕生時に一〇〇万円。  
全員が定時前に退社。  
酸素ボックスで気分転換。  
何歳でも教育補助金支給。**

【大人気シリーズ】「日本でいちばん大切にしたい会社」著者、最新刊!

筑摩書房 定価(本体価格820円+税)



ちくま新書

## 酸素ボックスで社員リフレッシュ

障がい者雇用法定率二〇%、社員二九名のうち、六名が障がい者、障がい者を大事な人財として成長する企業が日本ウエストン（岐阜）です。設立は一九七〇年、工業用タオル・手袋の分別・洗浄・再利用のリース、販売が主な事業です。企業は資源リサイクル活動を通じ、社会貢献と環境保全を行い「常に必要とされる企業」を目指します。白井社長は創業以来常に「活かす」を経営理念とし、特に「人を活かす」では、「社員一人ひとりが、自分の人生について設計ができ、自慢できる責任ある仕事と高収入による幸せな家庭が築ける素晴らしい企業」をつくることを目指しています。

また、社員の健康管理にも気をつけています。そのために高額な酸素ボックス（タイムワールド社製）を導入しています。一台当たり数百万円もの大型の酸素ボックスが二台設置されています。社長の「体力仕事の多い社員に、疲れたまま仕事をするのではなく、酸素ボックスで体力を回復し元気に仕事を続けてもらいたい」という思いがあるからです。社員一人ひとりが何を大切にし、どのような価値観で何を欲しているのかという情報を集め、常に企業として提供できることを行うという方針を貫いています。企業とは社員の夢をサポートするためにある、

それが日本ウエストンの企業理念です。

## ●ボックス内で、情報交換

二〇一四年九月、酸素ボックスを導入した経緯は、「効率よく疲れを癒やし、作業効率をあげたい」という社員からの意見がきっかけです。この声を反映させる方法はないか検討していた際、プロのスポーツ選手や大学の体育学部・スポーツジムで導入されていた酸素ボックスを知り、即、導入しました。導入後一年が経過しましたが、一度に数名利用できることから、ボックス内で会話が始まり、社員の情報交換の場所にもなるという思わぬ効果もあるようです。

## ●会議や打合せを行い、アイデアが生まれる

会議や打合せ等を酸素ボックスで行うことで身体のメンテナンスとリフレッシュが同時にでき、よいアイデアが浮かぶこともあります。また、プロ野球球団にも同じものが導入されているなど、酸素ボックスそのものも取引先での話のネタになっているようです。